

平成 19 年 4 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 小林 洋 行
代表者 代表取締役社長 清 覚 秀 雄
(コード番号 8742 東証一部)
問合せ先 取締役管理本部長 宮崎 誠 二
兼 経 理 部 長
(TEL 03-3664-3551)

当社子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であります株式会社フジトミは、平成 19 年 1 月 18 日に公表しました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の連結及び単独の業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これによる影響につきましては、現在集計中であり、数値がまとまり次第発表いたします。

(添付資料)

株式会社フジトミの開示資料

以 上

平成19年4月13日

各 位

会社名 株式会社 フ ジ ト ミ
 代表者名 代表取締役社長 奥田 啓二
 (JASDAQ・コード 8740)
 (問合せ先) 経 理 部 長 新 堀 博
 電 話 03-3209-5500

平成19年3月期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年1月18日付「平成19年3月期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成19年3月期通期（連結・単独）業績予想の修正

(1) 連結業績予想（平成18年4月1日から平成19年3月31日） (単位：百万円)

| | 営業収益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|------|-------|
| 前 回 予 想 (A) | 2,984 | △100 | △80 |
| 今 回 修 正 (B) | 2,581 | △436 | △527 |
| 増 減 額 (B-A) | △403 | △336 | △447 |
| 増 減 率 | △13.5% | — | — |
| (ご参考) 前期（平成18年3月期）実績 | 3,564 | 320 | 254 |

(2) 単独業績予想（平成18年4月1日から平成19年3月31日） (単位：百万円)

| | 営業収益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|------|-------|
| 前 回 予 想 (A) | 2,004 | △280 | △220 |
| 今 回 修 正 (B) | 1,659 | △597 | △629 |
| 増 減 額 (B-A) | △345 | △317 | △409 |
| 増 減 率 | △17.2% | — | — |
| (ご参考) 前期（平成18年3月期）実績 | 3,039 | 510 | 395 |

2. 修正理由等

商品取引所法改正等による勧誘規制強化などの影響を受け、当期の全国商品取引所の出来高合計は8,510万枚(前年同期比21.1%減)と3年連続で減少となり、商品先物市場の規模縮小が続いております。特に、下半期(平成18年10月～19年3月)の全国商品取引所の出来高合計は3,745万枚(前年同期比32.6%減)と、当社の予想を上回る市場環境の厳しさとなりました。

このような環境の中、当期の当社グループの業績は、9月中間期までは金・プラチナの活況による貴金属市場の受取手数料の増加や農産物市場を中心とした自己売買部門の好調により、前年を上回る実績となっておりますが、10月以降は市場環境の変化に伴い、受託業務、自己売買業務共に苦戦を余儀なくされました。

子会社丸梅㈱は、得意の穀物を中心に健闘し通期黒字を確保しましたが、当社は、10月以降、金・プラチナの取扱減少を埋める取扱商品を見出せず、また、自己売買部門においても上半期の利益の半分近くを失うなど厳しい状況が続きました。

この結果、当期の当社グループの受取手数料は2,094百万円(前期比29.0%減)、売買益は487百万円(前期比18.4%減)と大幅な減収となり、当期の連結業績は上記(1)、単独業績は上記(2)の通りとなる見込みであります。

なお、連結の税金等調整前当期純損失は341百万円、単独の税引前当期純損失は502百万円の見込みですが、商品先物市場の環境変化を踏まえ、当社の繰延税金資産の評価を厳格化したことにより、連結・単独ともに税引後の当期純損失が税引前の金額を上回っております。